学校法人 兵庫医科大学

広報

兵庫医科大学 兵庫医療大学

vol.205
2010年4月号

兵庫医科大学
第９代学長就任

兵庫医科大学第 33 回卒業式

最近の主な出来事、トピックス

平成 22 年度兵庫医科大学・兵庫医療大学 入学式

平成 22 年度予算

職場リポート

卒業生紹介

大学探訪　実験動物慰霊碑“日溜り”

（兵庫医科大学　７号館北側）

この慰霊の碑は昭和５７年４月１日に建立されました。当時の兵庫医科大学 学長 伴先生の書による“実験動物慰霊碑”の文字が刻まれた石碑の上に、小さな動物達を代表して兎のブロンズ像が黙座しています。日本の現代彫刻界で名高い今城國忠 氏（第７回日展特選(彫刻)受賞）によって作製されました。

当初設置されたのは現在の篤志解剖体慰霊碑がある場所でしたが、昭和６１年に篤志解剖体の慰霊碑を建立する場所を確保するため、動物実験施設の７号館北側に移設された経緯があります。

本学では、医学教育・研究及び医療の向上のために尊い命を捧げてくれた多くの実験動物の御霊に対して感謝の意を表し、昭和４８年より毎年１２月に実験動物慰霊祭を執り行っています。

目次

01　大学探訪（表紙について）／目次
02　兵庫医科大学第９代学長就任
　　学長挨拶
　　インタビュー
05　最近の主な出来事
■　兵庫医科大学
07　図書館長就任挨拶／3年生が在宅ケア実習を実施／財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況
08　第33回卒業式／大学院生の全さん「にしのみや留学生日本語スピーチ大会」で特別賞
09　平成22年度兵庫医科大学入学試験結果／大学院入学試験結果
10　平成22年度兵庫医科大学入学式／大学院入学式
11　兵庫医科大学病院 薬剤部長就任挨拶／看護部長就任挨拶
12　病院運営に貢献した部門（部署）に病院長から感謝状／健診センターの人間ドックに新メニュー登場
13　兵庫医科大学ささやま医療センター、ささやま老人保健施設ロゴマーク決定／篠山病院整備工事の進捗状況
■　兵庫医療大学
14　副学長就任挨拶
15　平成22年度兵庫医療大学入学試験結果
16　平成22年度兵庫医療大学入学式／開講授業時間帯が変更
17　薬学部OSCEプラクティスを実施／全学FDワークショップを開催
■　学校法人兵庫医科大学
18　平成22年度の主な取り組み
19　平成22年度予算について
21　役員等
22　事務組織再編について／平成22年度入職式及びオリエンテーションを実施
23　規程の制定・改正
23　多彩人
24　職場リポート
　　兵庫医科大学病院　病歴室
　　兵庫医科大学病院　看護部　CCU病棟
26　卒業生紹介
　　中央会尼崎中央病院院長　伊福 秀貴さん（兵庫医科大学第2期生）
　　近畿大学理工学部生命科学科教授　田村 和朗さん（兵庫医科大学第1期生）

兵庫医科大学　第9代学長 就任

平成２２年４月１日、兵庫医科大学第９代学長に、中西 憲司 主任教授（免疫学・医動物学講座）が就任されました。

特色ある教育、創造的な研究、先進的な医療を展開 輝くOnly One 大学を目指す

兵庫医科大学　学長
中西　憲司

波田前学長の後任として、４月１日から９代目学長を務めております。専門は免疫学、アレルギー学、感染症学です。波田前学長は教育、研究、診療のいずれの分野においても本学を飛躍的に発展させられました。その実績にあらためて敬意を表します。浅学非才な私でございますが、本学を愛する気持ち、本学を発展させたい気持ち、また、学生を愛する気持ちでは、誰にも負けてはいないつもりです。

本学はあと二年で創立４０周年を迎えます。この節目の時期の学長であることに対し、非常に責任を感じますとともに、喜びを感じております。誠心誠意、自分のすべてを出し切って、兵庫医科大学を今にも増して一層元気な、そして一層輝く大学にしていきたいと思っております。その為にも、卒業生の皆様、在校生の諸君、ご父兄の皆様、諸先輩、そして同僚の皆様のご支持とご支援を賜りたく、どうかよろしくお願い申し上げます。

すべての兵庫医科大学人とともに二年後に"The 40th anniversary of the birth of Hyogo College of Medicine”を心から祝福できる様、全力で努力してまいる所存です。

学歴	昭和５０年３月	和歌山県立医科大学卒業　（昭和４８年９月～４９年３月米国留学）
		ECFMG（Educational commission for Foreign Medical Graduates）取得
	昭和５０年６月	医師免許取得
	昭和５６年３月	大阪大学大学院医学研究科修了、医学博士（大阪大学）
職歴	昭和５６年８月	米国国立予防衛生研究所（ＮＩＨ）　アレルギー・感染部　博士研究員
	昭和５９年６月	兵庫医科大学内科学第3講座　助手
	平成３年７月	兵庫医科大学免疫学・医動物学講座　講師
	平成４年６月	兵庫医科大学免疫学・医動物学講座　助教授
	平成７年１２月	兵庫医科大学免疫学・医動物学講座　教授
	平成９年４月	兵庫医科大学先端医学研究所・生体防御部門　部門長（平成１３年３月まで）
	平成１７年４月	兵庫医科大学　学生部長（平成１９年３月まで）
専門分野	免疫学、アレルギー学、感染症学	
学会活動・社会における活動・受賞等	日本免疫学会評議員、米国免疫学会会員、日本癌学会会員	
	日本寄生虫学会　理事・評議員、日本アレルギー学会　代議員	
	日本インターフェロン・サイトカイン学会幹事	
	戦略的創造研究推進事業（ＣＲＥＳＴ）「ＩＬ-１８を標的とした自然型アトピー症の治療戦略」研究代表者（平成１３年１２月～平成１９年３月）	
	産学協同シーズイノベーション化事業「育成ステージ」「抗IL-１８抗体を用いた疾患メカニズムの解析とその治療法に関する研究」研究リーダー（平成１８年１０月～平成２２年３月）	
	兵庫科学賞　（兵庫県　平成１７年１１月）、小泉賞　（日本寄生虫学会学術賞　平成２１年２月）	

免疫学の権威として様々な研究に携わってこられた中西学長。２５年間を過ごされた兵庫医科大学に対する思いは人一倍です。
新学長の意気込み、そして人柄に迫りました。

意気込みを教えてください

本学が位置する西宮市には約５０万人が住み、併せて１０の大学、短期大学があります。コンサートホールや美術館、野球場がそろう文化・芸術のメッカであり、ノーベル賞受賞者の湯川秀樹博士やパナソニック創始者の松下幸之助氏が市民であったなど、誇り高い都市です。兵庫医科大学の発展により、全国、いや世界に西宮の名前を広げていきたいと思います。そのためにも、兵庫医科大学のブランド力を高め、学生、卒業生に愛校心を持ってもらい、自信を持って母校のことを発信していってほしい。本学はその教育、研究、診療においても、実績はトップレベルに位置し、非常に誇れるものです。既に一部からは高い評価を得ていますが、残念ながらまだ行き渡っておりません。学生、卒業生、そして教職員を含め、一丸となって兵庫医科大学を支える仕組みを強化していきたいと考えています。娘も本学を卒業しており、保護者としての視点も生かしていきたいと考えています。

兵庫医科大学とともに２５年間を歩んでこられた感想を

本当にあっという間でした。非常に恵まれた環境で仕事をさせていただき、米国国立予防衛生研究所（ＮＩＨ）で働いた後でも、その差を感じないほどでした。兵庫医科大学創立者である故森村先生の研究活動に対する深い御理解のおかげだと思いますが、高額な機器を導入するだけでなく、それをサポートしてくれる体制も整っています。研究力の高さの指標と言える科学研究費取得額が常に上位であることもその結果の現れだと思います。

平成１７年から２年間、学生部長を務めましたが、研究が忙しい時期と重なったため、２期目までは叶わず心残りがありました。これからは学長として、学生のため、大学のために全力を注ぎたいと思っています。

どのような学生でしたか？

当時は学生運動が盛んで、開講されない講義が多く時間はたっぷりありました。授業などあてにせず、内科や外科を問わずに色々な本を読み、自主的に勉強していました。留学したアメリカでは、英語スキルがあっても、話に中身が無いと相手に興味を持ってもらえず、まず自分の考えをしっかり持ち、それを的確に伝えることが重要であると刷り込まれました。当時の日本に比べて、アメリカの街や建物は綺麗で荘厳で、人々は颯爽と働き、多様で明確な意見を持っているところがとてもかっこよく映りました。私もアメリカで臨床医を目指せるように、アメリカの医科大学卒業生と同等の資格が得られるＥＣＦＭＧを取得しました。

体を動かすことが好きで、陸上部に所属し、夜は少林寺拳法に通っていました。陸上部では、初めは複数の個人種目に挑戦しましたがいい成績がだせず、「チームで勝とう」と考え、リレー種目に絞って他の部員と一緒に「いかに体力を温存させ、スピードを維持するか」を研究し、見事、翌年の西医体で金メダルを二つ取りました。発想の転換とその成果が実った大切な思い出です。最近はゴルフをしたり、忙しい時には自宅の室内バイクで１０kmほど走ったりしています。

臨床医から研究者に転進したきっかけを教えてください

もともと第３学年次の時に基礎医学教室に１年間配属され、免疫の研究が面白いと感じていましたが、留学の影響でアメリカの臨床医を目指しました。しかし色々と反対があり、結局日本の病院で研修しました。患者さんと接する日々は充実していましたが、患者さんを助けてあげられなかった時はとても辛く、医療の限界を思い知らされました。そして、今の医学では治すことができない病気の研究をして、根本的な原因を解明し、治療法を確立したい、と思うようになりました。同じ頃、同僚の研修医と始めた勉強会で免疫学に再会。書物を読み進めるうちに「免疫」の多様さ、奥深さにロマンを感じ、また、患者さんと接することで課せられた使命を果たしたいと、研究に進むことを決意しました。

研究者として得たものは？

当時「免疫」のトップを走っていた大阪大学第三内科に入局し、トップレベルの研究をするのは並大抵のことではいかないことを痛感しました。覚悟はしていましたが、人の２倍、３倍と粘り強く研究することは当たり前で、連日のように午前零時を回ってから帰宅していました。成功と失敗の繰り返しでしたが、自暴自棄になることもなく、いつも「失敗から何を学ぶかによって、物事の本質がわかる」と思っていましたし、それは今でも座右の銘として持ち続けています。失敗するからこそ、その要因を分析し、次の打つ手を考えることができます。ビギナーズラックでは力はつきません。

学生へのメッセージ

兵庫医科大学を信じ、全力でついてきて欲しいと思います。昨年に続き医師国家試験の結果も良く、本学の教育方針が間違っていないことが実証されました。教務部長、医学教育センター長を中心として教員は一致団結しており、またそれぞれの教育力も高まっています。某テレビ局の「世界一受けたい授業」ではないですが、他の大学関係者から本学教員の授業は非常にわかりやすい、と褒めていただけることも多く、試験も幅広く通用する優れた問題となっています。「自分たちはいい授業を受けている」と自慢に思ってほしいですね。そうすると、「よし、もっといい授業を！」と教員の士気もあがるはずです。学生と大学・教員が互いに信頼しあう関係がとても大切なのです。

また、今の学生は考え方や行動が画一的な傾向にあり、「嬉しい」「悲しい」といった感情さえも似ているように思われます。免疫学は多様性をを研究する学問です。それは、限られた対処法だけでは不意を打たれて攻撃されると個体が滅びてしまうので、多様性が重要だと教えているのです。学生時代だけでなく、卒業してからの長い人生を考えても、いざという時に動じずに対処できるような、色々な考え方を身につけてほしいと思います。

学長としての夢・目標は？

兵庫医科大学の歴史に始まり、教育、研究、診療における実績と成果を常設展示することができるような部屋を整備すること、できれば「兵庫医科大学アーカイブ」なるものを設立し、教員の業績を伝える場にしたいと考えています。「あそこに行けば兵庫医科大学のことが何でもわかる」というのが理想です。

例えば、私たちの研究チームの研究テーマが世界的に有名な教科書『Immunobiology』に掲載されています。こういった研究者の歩みを目に触れやすいように展示するのです。そして、「自分たちもアーカイブスに足跡を残すのだ！」といった使命感、課題を持たせ、モチベーションを上げさせるための役割も果たすはずです。アーカイブは教育、研究、診療の強化にもつながるでしょう。

座右の銘「失敗から学ぶ」

失敗した時、困った時、何をやってもうまくいかない時に、いかに起き上がるかが大切。長い研究生活の中で本来採択されるべき論文が採択されずに悔しい思いをしたこともありましたが、たとえネガティブな評価でもそれを糧にしてきました。次にどのような手を打つか、どのレベルまで引き上げられるか、ポジティブシンキングで乗り越えてきました。

趣　味

スポーツはするだけでなく見るのも好きで、昨年も何度かフィギュアスケートの観戦にでかけました。クラシックやオペラなども好きで、総合芸術に惹かれます。

家　族

妻、長女、長男の４人家族で、全員が医師です。時間がある時は夫婦や家族でゴルフ、温泉などにでかけます。また、アメリカ留学で知り合った友人家族と一緒に旅行をすることもあります。

最近の主な出来事

2月 February

3	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「コレステロールとは？」 (内分泌・代謝科　山本 徹也主任教授)	
6・7	■兵庫医科大学	平成22年度一般入学試験＜2次＞	P9
8	■兵庫医科大学	医学・医療講演会	➡
11	■兵庫医療大学	平成22年度一般入学試験・追試験 (前期Ａ日程、前期Ｂ日程)	P15
13・14・15	■兵庫医科大学	第104回医師国家試験	
15	■兵庫医科大学病院	病院機能評価再受審に係る講演会 (日本医療機能評価機構　企画室長兼事業推進部長)	
16	■兵庫医科大学病院	接遇研修	➡
17	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「HIV感染症／AIDS」 (血液内科 日笠 聡講師)	
18	■兵庫医療大学	兵庫医科大学病院・兵庫医科大学篠山病院合同病院説明会	➡
19	■兵庫医科大学	平成22年度大学院医学研究科入学試験＜後期＞及び課程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第56回)	P9
22	■兵庫医療大学	第1回看護学部ＦＤ研究会	➡
23	■兵庫医療大学	第１回社会人スキルガイダンス (看護学部)	➡
27	■兵庫医療大学	平成22年度一般入学試験 ＜後期日程＞	P15
	■兵庫医科大学	全国共用試験OSCE	

3月 March

4	■兵庫医科大学	卒業式	P8
5	■兵庫医科大学病院	第5回兵庫医科大学がんセンター講演会 「がん医療従事者研修」	
6	■兵庫医療大学	「ポーアイ4大学による連携事業」 公開講座『自分でできるストレス緩和策』 (共通教育センター　磯 博行教授)	
8～12	■兵庫医療大学	兵庫医科大学病院1日病院見学 (看護学部)	➡
10	■兵庫医科大学病院	市民健康講座『乳がんの診断』 (乳腺・内分泌外科　三好 康雄教授)	
11	■兵庫医療大学	全学部ＦＤワークショップ	P17
14	■兵庫医療大学	薬学部OSCEプラクティス	P17
24	■兵庫医科大学	市民健康講座 「切らずに治すカテーテル治療」 (放射線科　廣田 省三主任教授)	
26	■兵庫医科大学病院	診療報酬改訂説明会	

2/8 ■兵庫医科大学
医学・医療講演会

平成２０年７月に厚生労働省より「臨床研究に関する倫理指針」の全部改正が告示され(平成２１年４月１日施行)、全国の医科系大学においても各機関の倫理委員会規程等の改正に早急に取り組んでいます。この倫理指針の改正に併せて、今後の医学(臨床)研究における研究者に対する教育の一環として講演会を開催し、「わが国における医学研究倫理指針の変遷とその問題点について」という演題で京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻医療倫理学分野 小杉眞司教授にご講演いただきました。

左から片野貴弘氏、新野恒二氏

2/16 ■兵庫医科大学病院
接遇研修

３－３講義室(３－１、３－２講義室同時中継)で、患者サービス向上委員会主催による『病院への５S活動の導入～導入事例に学ぶ組織活性化～』という演題でテルモ甲府東工場生産部部長 新野恒二氏、片野貴弘氏にご講演いただきました。講演では、事例を用いての５S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の解説と５S活動の展開やその効果、病院での導入イメージについて説明いただきました。医師３０名、臨床研修医１５名、看護師３５３名、コメディカル他２４６名の計６４４名が参加しました。

2/18 ■兵庫医療大学
兵庫医科大学病院・兵庫医科大学篠山病院合同病院説明会

看護学部３年生全員を対象に就職説明会が実施され、各病院より、病院長や看護部長による病院概要、先輩看護師からのメッセージ、採用担当者による募集要項の説明が行われました。続いて、個別相談会も行われました。

※リハビリテーション学部対象の合同病院説明会は後日実施予定

2/22 ■兵庫医療大学
第１回看護学部FD研究会

兵庫医療大学看護学部のブランド力向上を目的にＦＤ研究会が開催され、ブランド力に関する基本概念およびブランド力を高めるための戦略の実際について、実践的取り組みをされている関西学院大学副学長 経営戦略研究の定藤繁樹教授にご講演いただきました。その後、看護学部教員によるグループワーク・発表が行われました。

2/23 ■兵庫医療大学
第１回社会人スキルガイダンス

看護学部３年生全員を対象に実施。「就活ガイダンス」では、(株)文化放送キャリアパートナーズ関西支社森下雅彦氏より、就職活動の年間スケジュールや病院選びの基準、就職試験対策、ビジネスマナー等について、「美肌学講座・就活メイク講座」では、(株)エバメール化粧品中村真弓氏より、素肌の大切さ、就職活動にふさわしいメイク方法、ペアワーク(ハンドマッサージ)について講義と実演をしていただきました。

3/8～12 ■兵庫医療大学
兵庫医科大学病院１日病院見学(看護学部)

看護学部の３年生を対象に、兵庫医科大学病院で実施されました。内科や外科に加えて、今回は臨床実習では経験する事の出来ない救命救急センター、手術室、ＩＣＵ、ＣＣＵ、ＮＩＣＵ等、全病棟が実施の対象となり、学生達は希望する部署で先輩看護師に付いて見学を行いました。技術的なことはもちろんのこと、実習時とは違う内容で看護師の実業務と１日のサイクルを体験しました。

兵庫医科大学

図書館長就任挨拶

小児科学
主任教授　谷澤　隆邦
<平成２２年４月１日就任>

守田嘉男前館長の後任として担当させていただくことを光栄に存じます。私が学生だった頃の医学部図書館は限られた時間枠と一部の利用者が通う黴臭いイメージでした。今日では高度情報化時代のなかでリアルタイムの対応や利用者個人の携帯メールを活用したサービスなど、多様化と精緻化された情報発信を求められています。しかし、大学を取り巻く厳しい医療経済環境の下で、図書館の高機能化と運営コストの低減化という、相反するジレンマを克服しなければなりません。

前館長のご尽力で、学生からの強い希望でもあった休日開館の実施をはじめ、老朽化した図書館設備やアメニティー環境の整備充実に努めるなど、利用者への便宜を図り兵庫医療大学の学生ならびに他大学利用者の拡充に努められ多大の実績を挙げてこられました。

今後の課題としては、従前業務の維持・充実に加えて、ITを活用した他大学とのさらなる連携強化を図り、学術情報を提供することが大学図書館としての責務でもあります。また、オープン図書館の拡大により、地域の医療従事者や近隣住民へ医療情報を提供することが知的コミュニティとしての機能を果たす役割にも繋がります。さらに、学内の研究者等により生産された知的資源を基盤としたWeb上での学術情報コンテンツの公開システムを構築するなど、地域社会との交流・連携も必須と考えています。末筆ながら、関係各位のご理解とご協力を申し上げる次第です。

兵庫医科大学

３年生が在宅ケア実習を実施

今年度で２回目を迎える本学３年生の在宅ケア(訪問看護)実習も無事終了しました。ご協力いただきました訪問看護ステーションの皆様に厚く御礼申し上げます。

患者さんはある時期は病院で医療を受け、そして地域社会に戻ります。特に慢性疾患、難治性疾患では退院後の地域社会での医療(病院後医療)が患者・家族を支えることになります。このように、医療には、病院前医療(予防医学・健康増進)、病院医療、そして病院後医療という時間軸があります。在宅医療は地域医療の大きな柱の一つであり、介護保険導入によりその重要性が増しています。本実習の目的は医療における時間軸を理解し、地域社会と患者・家族の生活支援との関連を考え、チーム医療の素養を身に付けることです。実際に患者さんの家庭を訪問すること自体も、貴重な経験だと思います。

ここで強調したいのは３年生の時点で実施する意味です。写真では学生が血圧を測定している様子が偶然写っていますが、実は医療行為ができるかできないかは重要なことではありません。何もできない３年生だからこそ、この実習を受ける意味があり、医師に近い視点からではなく、一人の人間として在宅の患者さんの家庭を見てほしいのです。今は患者さんの苦しみや痛みに対して話を傾聴する、体をさすってあげることぐらいしかできないでしょう。その体験が貴重であると考えています。
(医学教育センター長　鈴木 敬一郎)

兵庫医科大学

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:千円)

助成団体名	助成団体名	研究者	交付額
情報・システム研究機構 統計数理研究所	膜電位イメージング情報からの機能的神経回路網の再構築	越久　仁敬 (生理学生体機能部門)	６６
(財)かなえ医薬振興財団	ケモカインを中心とした術後癒着形成メカニズムの解析及び、その制御	小坂　久 (外科学 肝・胆・膵外科)	１,２００
(財)大阪癌研究会	in vivoイメージングを可能にする悪性中皮腫モデルマウスの作製と、腫瘍融解アデノウイルス開発への応用	久保　秀司 (先端研・生体防御部門)	５００
(財)上原記念生命科学財団	上皮細胞からのサイトカイン(IL-18、IL-33)によるアレルギー発症機序の解明	善本　知広 (先端研・アレルギー疾患研究部門)	５,０００
(財)上原記念生命科学財団	癒着制御機構に関わるケモカインの解析	小坂　久 (外科学 肝・胆・膵外科)	４,０００
(財)井上科学振興財団	IFN-γを中心とした術後癒着形成機序の解明とその制御に基づく癒着予防法の開発	小坂　久 (外科学 肝・胆・膵外科)	５００
(財)内藤記念科学振興財団	ショウジョウバエの幹細胞に関与する遺伝子群の解析	中野　芳朗 (遺伝学)	３,２００
(財)医療科学研究所	医療現場における“し忘れ”を防ぐための認知心理学的研究	室井　みや (心理学)	５００

兵庫医科大学

兵庫医科大学　第３３回卒業式

卒業生代表答辞　八幡(やはた) 環(たまき) さん

在学生代表送辞　坂本(さかもと) 明香(はるか) さん

平成２２年３月４日(木)、平成記念会館において兵庫医科大学 第３３回卒業式が執り行われました。９５名が卒業の日を迎え、ここに、兵庫医科大学から３，３７９名の卒業生を世に送り出すことになりました。

式は開会式の辞、校歌斉唱に始まり、波田学長が卒業生一人ひとりに学位記を授与し、続いて、森村賞授与、学長式辞、来賓祝辞、学生会活動功労賞授与、在学生代表送辞、卒業生代表答辞、「仰げば尊し」の斉唱が行われました。

波田学長は「皆さんには、患者さんとの対話を大切にする医師になってほしい。これから厳しいこともあると思いますが、忍耐と努力のもと、一人ひとりの個性を生かした大きな花を咲かせてください。」とメッセージを贈られました。保護者や在校生、教職員など多くの方々からの祝福を受け、卒業生たちは晴れやかな笑顔で学び舎を巣立っていきました。

森村賞

優秀な成績をもって卒業する者に贈られるもので、今年度は平成２１年度卒業試験の成績とこれまでの成績の推移、課外活動等において総合的に優秀な成績を収めた河中(かわなか) 真紀(まき)さん、吉水(よしみず) 祥一(しょういち)さんのお２人に贈られました。

学生会活動功労賞

課外活動およびボランティア活動等で６年間を通じて顕著な実績をあげた者に贈られるもので、課外活動(アーチェリー部)に顕著な成績を収めた福田(ふくだ) 雄一(ゆういち)さんに贈られました。

兵庫医科大学

大学院生の全さん「にしのみや留学生日本語スピーチ大会」で特別賞

西宮市には併せて１０の大学・短期大学があり、多くの留学生が学んでいます。平成２２年２月１４日に西宮市のフレンテホールで開催された「にしのみや留学生日本語スピーチ大会」に解剖学 神経生物学に所属する大学院生の全 瑨坤(じゅん じんごん)さんが、出場し特別賞を受賞しました。このスピーチ大会は、財団法人 西宮市国際交流協会が例年主催している「西宮国際交流デー」のプログラムの一つとして、今年初めて実施されたものです。

本学は平成２１年４月に国際交流センターを設置し、国際交流を積極的に進めており、留学生と地域社会との相互理解・交流を図ることは国際交流の一環として大切なことと考え、本学を代表して全さんを推薦しました。

当日は市内大学に在籍する留学生等１０名が、日本や西宮市で生活する中で感じたこと、印象的な出来事、母国との文化の違いなどをテーマとしてスピーチを行いました。

兵庫医科大学

平成２２年度兵庫医科大学入学試験　結果

一般入学試験　募集人員：８１名

１次試験　試験日：平成２２年１月２７日（水）
試験科目：数学、外国語、理科（物理・化学・生物から２科目選択）

試験会場	平成２２年度				平成２１年度
	合計	大阪会場（インテックス大阪）	東京会場（フォーラム８）	福岡会場（福岡商工会議所）	
志願者数	２，２４８名	１，４１８名	４９１名	３３９名	１，５５３名
受験者数	２，１００名	１，３５１名	４３３名	３１６名	１，４０４名

合格発表日：平成２２年２月４日（木）
合格者数：４３０名

２次試験　試験日：平成２２年２月６日（土）又は７日（日）の選択制
試験科目：小論文、面接
試験場所：兵庫医科大学
合格発表日：平成２２年２月１５日（月）
正規合格者数：１０６名／補欠者数：１９６名

一般入学試験（１次試験）大阪会場
初めてインテックス大阪（大阪市住之江区南港北）にて実施

大学入試センター試験利用入学試験　募集人員：１０名

１次試験　試験日：平成２２年１月１６日（土）、１７日（日）
志願者数：６２９名／受験者数：６２１名
試験場所：大学入試センター指定の試験会場
合格発表日：平成２２年２月１５日（月）
合格者：２２２名

２次試験　試験日：平成２２年２月２０日（土）
試験場所：兵庫医科大学
受験者数：１１３名　（欠席者数：１０９名）
合格発表日：平成２２年２月２４日（水）
正規合格者数：１６名／補欠者数：６８名

平成２２年度兵庫医科大学大学院入学試験　結果

医学研究科入学試験（後期募集）

試験日：平成２２年２月１９日（金）
試験場：兵庫医科大学
選考方法：外国語試験、面接
合格発表：平成２２年３月１２日（金）

受験者数	３２名
合格者数	３１名

課程を経ない学位申請者に対する外国語試験（第５６回）

試験日：平成２２年２月１９日（金）
試験場：兵庫医科大学
選考方法：外国語試験
合格発表：平成２２年３月１２日（金）

受験者数	９名
合格者数	９名

医学研究科入学試験（本学教員）　※助教以上の教員が対象

試験日・試験場：指導教授の指示した日時及び場所で実施
選考方法：外国語試験、面接
合格発表：研究科教授会において承認された翌日

受験者数	３名
合格者数	３名

兵庫医科大学

平成２２年度兵庫医科大学　入学式

平成２２年４月３日（土）、平成記念会館において平成２２年度兵庫医科大学 入学式が執り行われ、１１０名が入学しました。

式では、学長式辞、新入生代表による入学宣誓に続き、名前を呼ばれた新入生は一人ずつ登壇し、誓約書を中西学長に提出しました。次いで、来賓祝辞、校歌斉唱が行われました。

式の後、保護者の方々にはノボテル甲子園で行われた保護者説明会にご参加いただきました。新入生は同日午後から順次オリエンテーションに参加し、６日から授業を開始しました。

新入生代表「入学宣誓」　鈴木 智大（ちひろ）さん

兵庫医科大学

平成２２年度 兵庫医科大学大学院　入学式

平成２２年４月２日（金）、９－２講義室において平成２２年度大学院医学研究科 入学式が執り行われ、４２名（うち３６名が夜間履修学生）が入学しました。

専攻	分野	授業科目名	人数	夜間履修者の有無	専攻	分野	授業科目名	人数	夜間履修者の有無
医科学専攻	器官・代謝制御系	循環器病学（増山主任教授）	4	有	医科学専攻	生体応答制御系	臨床免疫学	1	有
		肝胆膵内科学	4	有			呼吸器病態学	3（3）	有
		上部消化管外科学	1	有			分子皮膚病態学	1	有
		下部消化管外科学	1（1）	有			救急集中治療医学（小谷主任教授）	2	有
		産科学婦人科学	1（1）	有			救急集中治療医学（西主任教授）	1	有
		総合診療内科学	1	有			医学物理学	1	有
		地域総合医療学	1	有			臨床腫瘍薬剤制御学（中野主任教授）	2	有
	高次神経制御系	生体情報学	1	無			臨床腫瘍薬剤制御学（長谷川主任教授）	1	有
		整形外科学	1（1）	有		生体再生制御系	形成外科学	1（1）	有
		麻酔科学	3（1）	有		環境病態制御系	公衆衛生学	3（2）	有
		耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学	2（2）	無	先端医学専攻	疼痛情報制御系	疼痛神経科学	3（2）	有
		リハビリテーション科学	1	有		分子再生医学系	神経再生医学	1	有
							細胞遺伝子治療学	1	無
合　計　４２（１４）名									

（　）：女子内数

兵庫医科大学病院

就任挨拶

兵庫医科大学病院
薬剤部長　木村　健
<平成２２年４月１日就任>

患者さん中心の医療を目指し、チーム医療に貢献できる薬剤部の確立

平成２２年４月１日に薬剤部長に就任いたしました。私は、病院薬剤師として２１年間勤務したのち、薬学教育が六年制になったのを機に４年間薬学部にて大学教員として従事してまいりました。

近年、医療環境がより高度化・複雑化していく中にあって、我々病院薬剤師を取り巻く環境にも大きな変革がもたらされています。薬剤師は患者さんに安全かつ効果的な薬物治療を提供するため、チーム医療の一員としての役割が重要であり、「くすりの専門家」としてのみならず、医療の安全を担うリスクマネージャーとしての役割も期待されているのです。さらに、各専門分野で高度な知識と技能を有する「専門・認定薬剤師」を育成し、医療の質の向上に薬剤師が関与した結果を示していきたいと考えています。また、本年度から始まる薬学生の長期実務実習においては、大学病院として質の高い実習内容を提供できるような体制を築き、次世代の薬剤師教育にも取り組んでいきます。

本院薬剤部は、日常業務に加えて、「臨床」、「教育」、「研究」の３つの使命を遂行するとともに、これからも地域社会に貢献していきたいと考えておりますので、今後とも様々な方面からのご支援をよろしくお願い申し上げます。

（略歴）
１９８６年近畿大学薬学部卒、同年徳洲会病院薬剤部に勤務、その後、薬剤部長、全国薬剤部副代表、中央薬事委員、中央治験審査委員などを兼任、２００６年近畿大学薬学部臨床薬学部門准教授。

兵庫医科大学病院

就任挨拶

兵庫医科大学病院
看護部長　山田　明美
<平成２２年４月１日就任>

心地よい療養環境・ケアの提供を目指しています

平成２２年４月１日に看護部長に就任いたしました。看護部には約８００人の看護師がおります。看護師は患者さんの最も身近な存在であり、入院生活と自宅での療養生活を支える医療従事者として重要な役割を持っています。同時に、超高齢社会と医療の専門分化・高度化という社会動向の中で、特定機能病院として一翼を担うため、高度の知識・技術が求められます。看護部では臨床実践能力向上を目的とした現任教育体制の充実を図り、これらに対応しています。なかでも、特定専門分野の専門看護師・認定看護師（スペシャリスト）と、あらゆる領域と状況に対応できる看護師（ジェネラリスト）を多く育成し、高い診療レベルに応じた看護の提供と人材育成に努めています。

また、病院運営の重要な柱である安定した経営基盤の強化のために、病床稼働率の上昇、在院日数の短縮を目指していきます。患者さんの自然治癒力と健康回復への気力を高められるような日々の看護の実践とともに、地域との医療連携強化を図り、当院を退院された患者さんが安心して他院や在宅で過ごせるよう“切れ目のない医療・看護の提供”に努めてまいります。

良い看護の提供にはスタッフが生き生きと働くことが重要であり、多くの支援を受けながらキャリアアップできる職場風土つくりが必要です。そのためにも多職種間の良好なコミュニケーションが欠かせません。今後ともよろしくお願いいたします。

（略歴）
１９７５年金沢大学医療技術短期大学部卒業後、兵庫医科大学病院消化器外科病棟勤務。１９８０年看護主任。
１９８６年ICU看護師長。救命救急センター、看護部教育室を経て、１９９５年看護部次長（継続教育担当）。
１９９８年臨床教育学修士。２００４年認定看護管理者。

兵庫医科大学病院

病院運営に貢献した部門（部署）に病院長から感謝状

平成２１年度は厳しい予算措置の下にあるにも関わらず、病院の平成２１年４月～１２月までの運営実績は、平成20年度の同期間と比べて、大きく改善しています。

このことについて、病院運営に関して１３の評価項目で評価することとし、特に貢献の高かった部門（部署）に対して、平成２２年３月１日、第１会議室において病院長から感謝状とギフト券が贈られました。

兵庫医科大学病院

健診センターの人間ドックに新メニュー登場

兵庫医科大学病院健診センターではがん検診と生活習慣病の健診を組み合わせた人間ドックを実施しており、「医師やスタッフの対応が丁寧で安心して受けることができた」「スムーズに検査を受けることができ、待ち時間も少なかった」と好評です。

平成２２年４月から基本コースに「循環器ドック」や「プチドック」の新メニューが加わり、オプション検査にも「歯科口腔検診」や「肺がん検診」など、追加して欲しいと要望の多かった検査が増えました。関係部署にはお手数をおかけしますが、ご協力よろしくお願いします。

予約申込・問合せ

健診センター（１号館１３階）
受付時間：月～金曜日　９時～１６時
第１・３・５土曜日　９時～１２時
電話番号：０７９８－４５－６１３２（直通）

		検査項目	実施日／所要時間等
基本コース	標準ドック	内科診察、眼底、眼圧、胃カメラまたは胃透視、腹部超音波、胸部Ｘ線、心電図、血液検査、尿検査等	月・木曜日の午前／約４時間 ※エスコートスタッフが案内
	循環器ドック（４月から）	内科診察、心臓超音波、頸動脈超音波、運動負荷試験、血管脈波、血液検査等	月・木曜日の午後／約１．５時間 ※エスコートスタッフが案内
	プチドック（４月から）	内科診察、心電図、胸部Ｘ線、眼底、血液検査、尿検査等	火・水・金曜日の午後／約１時間
オプション検査		マンモグラフィ検査※、子宮がん検診※、脳ＭＲＩ、骨密度測定※、ＰＥＴ／ＣＴ検査、腫瘍マーカー等※ （以下は４月から） 歯科口腔検診、肺がん検診※、血液検査各種※（肝機能セット、腎機能セット、ピロリ菌セット、甲状腺機能セット、リウマチセット）	一部のオプション検査は、オプション検査のみを単独で受けて頂くことも可能（※）

※詳しくは兵庫医科大学病院健診センターのパンフレット、ホームページをご確認ください

篠山病院

兵庫医科大学ささやま医療センター、ささやま老人保健施設ロゴマーク決定

篠山病院では、平成２２年６月の新病院棟開設及びささやま医療センターへの名称変更に伴い、ささやま医療センター及びささやま老人保健施設のロゴマークを公募しました。公募期間は平成２１年９月１日～９月３０日で、８２点の応募がありました。来院患者さん等の一般市民、自治会長会、篠山市関係者、兵庫医科大学関係者による投票と厳正なる審査によって選出された最優秀賞作品の一部を修正し、ロゴマークとして使用することが決定しました。

最優秀賞作品

作者：兵庫県西宮市　坂出　仁和子（さかで　にわこ）さん
コンセプト：篠山市は兵庫県下でも豊かな自然の産物であふれる瑞々しいイメージを持つ市である。自然との共生をテーマに、医療がより一層篠山の人々にとって身近な存在となるよう、生命力溢れるロゴデザインを心掛けた。篠山の頭文字Sを市の花である「ささゆり」で表現し、また、兵庫医科大学ロゴと合わせやすい色を施した。

篠山病院

篠山病院整備工事の進捗状況（４月１日現在）

桜の開花も終え、新緑が美しく映える季節となりました。篠山病院の新名称「ささやま医療センター」の施設標識を屋上の塔屋外壁に取り付けました。

現場では建物、外構工事がほぼ完了し（３月末で９６％）、４月からは施工会社による社内検査及び官公庁検査が行われます。６月１日のオープンに向け、現地篠山病院の関係者と協力して、開院準備が急ピッチで進められています。

屋上の施設標識

建物全景（北西側より）

屋上広場出入口

明るく伸びやかなエントランスホール

１階外来診療ゾーン

各階に設けられたデイルーム

副学長就任挨拶

兵庫医療大学の発展のために全力を尽くします

兵庫医療大学　副学長（薬学部 教授）
馬場　明道

私は永年、大阪大学で薬学の教育研究に従事すると共に、学部、大学の管理運営にも関わってきました。この度、兵庫医療大学に副学長として赴任することになり、この場を借り、喜びと共に、ひとこと所感を述べさせていただきます。

兵庫医療大学が、学校法人兵庫医科大学のもとに、新大学として発足して３年が経過しました。私は、兵庫医療大学の薬学部の設置時に教員選考などでお手伝いをし、また、この２年半余り、薬学部特任教授として、薬学部のみならず、兵庫医療大学全体の発展をも見させていただく立場を与えていただきました。

松田 暉学長、佐藤 禮子副学長を中心に、多彩な教育背景を有する若手の有能な教員、事務組織が一丸となって、新大学を軌道に乗せるべく必死の努力を続けて来られた姿に心から敬意を表すものです。松田学長が大学ホームページのメッセージで「この３年で、教職員、学生、キャンパス整備など、兵庫医療大学の全容がほぼ整い、いよいよ本格的な活動を始める時期に入った」と強い決意を述べておられます。このような時期に、副学長として参画させていただくことは、大変な喜びであるとともに、身の引き締まる思いです。

云うまでもなく、兵庫医療大学の設立理念、アドミッションポリシーにのっとった素晴らしい教学の場を構築し、優れた人材を育成することが最も重要な大学の使命であります。他方、１８歳人口の低下と大学数の増加という難題が、大学の管理運営面に多大の影響を及ぼすことも指摘されて久しく、特に、医療系学部の中でも、６年制の薬学部については、極めて厳しい状況にあることは周知のことです。ただ、この向かい風の状況を嘆くのではなく、好機と捉えて立ち向かう勇気を持つことこそが最も必要であると信じます。新しい大学に集う新進気鋭の教員が学生達と共に学び、学生を育て、また大学をも育てていく意識を共有し、この向かい風に立ち向かってこそ、兵庫医療大学の発展が目に見えてくるものになると確信します。

卓越した伝統と目ざましい社会貢献の成果を歴史に刻んできた兵庫医科大学の姉妹校として、兵庫医療大学は誕生してわずか３年です。人の成長でいえば、独り歩きが出来るようになった時期であり、独り立ちするまでには今しばらくの時間が必要なことは言うまでもありません。兵庫医療大学が、学校法人兵庫医科大学の一員として、輝かしい大学に成長するべく、松田学長を中心として、全ての教職員が一丸となって頑張っておられます。私自身、その流れの中で、松田学長を支え、兵庫医療大学の発展のために全力を尽くす所存です。

今後、色々とご指導ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

プロフィール

兵庫医療大学副学長、薬学部教授
大阪大学名誉教授、大阪大学経営協議会委員
日本学術会議連携会員
専門は薬理学、日本薬学会副会頭、大阪府薬事審議会会長、日本薬学会賞受賞（平成１９年度）
大阪大学理事・副学長、同大学院薬学研究科教授、薬学部長などを歴任

兵庫医療大学

平成２２年度兵庫医療大学入学試験　結果

前期Ａ日程

試験日：平成２２年１月３０日（土）　　合格発表：平成２２年２月１０日（水）
試験場：＜薬学部、リハビリテーション学部＞　兵庫医療大学
　　＜看護学部＞　神戸ポートアイランドホール（通称＝ワールド記念ホール）

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部 医療薬学科	外国語、数学、理科（化学）	６０名	１３６名	１３１名	１０３名	１．３倍
看護学部 看護学科	外国語、国語、理科（化学又は生物）	６０名	５３１名	５２２名	１４３名	３．７倍
リハビリテーション学部　理学療法学科	外国語、数学、理科（化学又は生物）	２５名	１９９名	１９７名	５７名	３．５倍
リハビリテーション学部　作業療法学科	外国語、国語、理科（化学又は生物）	１２名	５１名	５１名	２３名	２．２倍

前期Ｂ日程

試験日：平成２２年１月３１日（日）　　合格発表：平成２２年２月１０日（水）
試験場：兵庫医療大学

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部 医療薬学科	外国語、理科（化学）	３０名	１１４名	１１２名	８０名	１．４倍
リハビリテーション学部　作業療法学科	外国語、数学、理科（化学又は生物）	８名	６５名	６５名	２９名	２．２倍

追試験

新型インフルエンザ対応として、前期Ａ日程および前期Ｂ日程の追試験を実施しました。

試験日：平成２２年２月１１日（木・祝）　　合格発表：平成２２年２月１８日（木）
試験場：兵庫医療大学

	学部学科	試験科目	受験者	合格者
Ａ日程	看護学部 看護学科	外国語、国語、理科（化学又は生物）	２名	２名
Ｂ日程	薬学部 医療薬学科	外国語、理科（化学）	１名	１名

後期日程

試験日：平成２２年２月２７日（土）　　合格発表：平成２２年３月９日（火）
試験場：兵庫医療大学

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部 医療薬学科	外国語、数学、理科（化学）	１０名	５２名	３９名	３１名	１．３倍
看護学部 看護学科	外国語、国語、理科（化学又は生物）	５名	９７名	９５名	８名	１１．９倍
リハビリテーション学部　理学療法学科	外国語、小論文、理科（化学又は生物）	５名	３２名	３１名	８名	３．９倍
リハビリテーション学部　作業療法学科	外国語、小論文、理科（化学又は生物）	５名	９名	９名	５名	１．８倍

大学入試センター試験利用入学試験

試験日：平成２２年１月１６日（土）、１７日（日）　　合格発表日：平成２２年２月１０日（水）

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部 医療薬学科	国語（近代以降の文章）、数学①（数学Ⅰまたは「数学Ⅰ・数学A」より1科目選択）、数学②（数学Ⅱまたは「数学Ⅱ・数学B」より1科目選択）、理科①化学Ⅰ、理科②（生物Ⅰまたは物理Ⅰより1科目選択）、英語（筆記・リスニング）	６名	４６名	４６名	２１名	２．２倍
看護学部 看護学科	国語（近代以降の文章）、理科（化学Ⅰまたは生物Ⅰより1科目選択）、英語（筆記・リスニング）	５名	２１２名	２１２名	１２名	１７．７倍

※実質倍率は「受験者数/合格者」

兵庫医療大学

平成２２年度兵庫医療大学　入学式

平成２２年４月５日（月）、ポートピアホテルにおいて平成２２年度兵庫医療大学 入学式が執り行われ、薬学部１５０名、看護学部１０９名（編入学者１名含む）、リハビリテーション学部９５名（理学療法学科５１名、作業療法学科４４名）の３５４名が入学しました。

式では、松田学長による入学許可宣言に続いて、学部ごとに新入生代表による入学宣誓を行い、一人ずつ名前を読み上げられると、元気よく返事を会場に響かせていました。次いで、学長式辞、兵庫医科大学 中西学長挨拶、来賓祝辞、校歌斉唱が行われました。

式の後、保護者の方々には同会場で行われた保護者説明会にご参加いただきました。新入生は同日午後から順次オリエンテーションに参加し、７日から授業を開始しました。

新入生代表による入学宣誓

薬学部　稲岡（いなおか）　涼（りょう）さん

看護学部　古谷（ふるや）　和磨（かずま）さん

リハビリテーション学部　足立（あだち）　成美（なるみ）さん

学生生活に関するオリエンテーション

新入生オリエンテーション

兵庫医療大学

開講授業時間帯が変更

ポートアイランドにある近隣大学との通学時間帯の混雑緩和、近隣企業の通勤時間帯の混雑緩和の観点から、平成２２年度開講授業時間帯（開始時刻・終了時刻）が変更になりました。

第１時限	９：３０～１１：００
第２時限	１１：１０～１２：４０
≪昼休憩　１２：４０～１３：４０≫	
第３時限	１３：４０～１５：１０
第４時限	１５：２０～１６：５０
第５時限	１７：００～１８：３０

兵庫医療大学

薬学部OSCEプラクティスを実施

薬学部の６年制移行に伴い、実務実習を病院及び薬局で行う５学年次の進級を前に、医学部同様に全国共用試験としてCBT（Computer-Based Testing；知識および問題解決能力を評価する客観試験）とOSCE（Objective Structured Clinical Examination；技能・態度を評価する客観的臨床能力試験）が課せられるようになりました。本学では薬学部第1期生が２０１０年１２月末に初めて全国共用試験を受験する予定で、これに先駆け、３月１４日（日）本学キャンパスにおいてOSCEプラクティスを実施しました。OSCEを本番と同じ形式で行い、問題なく本試験を実施できるか確認するもので、薬学部教員と３年生（新４年生）が参加しました。また、模擬患者としてボランティアでご協力頂いている地域住民の方々、兵庫医科大学病院・篠山病院薬剤部、他大学薬学部および地元薬剤師会から、多数評価者としてご参加頂きました。

当日は、無菌操作の実践や薬剤調整、調剤監査、接遇、情報提供などの６つの課題に応じたステーションに分かれ、ローテーションで各課題に取り組む形式で行われました。本番同様の臨場感溢れる中、学生は終始緊張の面持ちで課題に取り組んでいましたが、特に問題なく、全ての試験を予定通りに行うことができました。

概略説明

無菌操作

薬剤調整

情報提供

兵庫医療大学

全学FDワークショップを開催

平成２２年３月１１日（木）に教職員参加の「平成２１年度兵庫医療大学 全学FDワークショップ」を開催しました。全体テーマは「教育成果の測定と授業改善への活用」で、午前中は特別講師として立命館大学教授の安岡高志氏をお迎えし「PDCA（Plan Do Check Action）サイクルとこれからのFD」についてご講演いただきました。立命館大学や、その他実際にPDCAサイクルが行われている病院や企業などを例にわかりやすく解説していただき、貴重な時間となりました。午後には特別講演の内容を踏まえてのグループワークを行い、教員・職員混成グループでは「教育成果を踏まえた授業改善について」、職員グループでは「自分達が教員並びに学生と向き合い、どのように行動すべきかを意識化し、実践に向けた行動計画を立案する」というテーマで話し合いました。

学校法人兵庫医科大学

平成２２年度の主な取り組み

【平成２２年度の事業計画の重点項目】
・学校法人兵庫医科大学の収支改善（特に病院部門）
・急性医療総合センター建設と西宮キャンパスグランドデザイン策定
・兵庫医療大学大学院設置
・兵庫医科大学ささやま医療センターの基盤整備（※篠山病院は平成２２年６月１日にささやま医療センターに名称変更）

Ⅰ．事業計画

１.兵庫医科大学

１）診療に関する事業

（１）兵庫医科大学病院
①医療収入の確保（目標数値）
②病院機能評価の再受審
③病棟業務の効率化推進
④医療経費削減
⑤１７２名以上の看護師・助産師採用及び離職防止対策
⑥電子カルテシステムの段階的導入（第１段階）

（２）兵庫医科大学ささやま医療センター
①経営安定のための人材確保及び適正な人員配置
②診療機能の強化
③研究機能の拡充
④地域医療への一層の貢献に向けた基盤づくり

（３）兵庫医科大学ささやま老人保健施設
①地域ニーズを踏まえた業務運営の推進
②病院新築に伴う新たな運用計画

２.兵庫医療大学

１）教育・研究に関する事業
①大学院（修士課程）設置申請と開設準備
②入学試験制度の徹底検証と新戦略による入学試験の実施
③キャンパスの有効利用による教育施設の確保と学生のアメニティの向上
④研究推進組織の構築と研究活動の活性化
⑤国家試験の合格率１００％をめざす対策の実践と支援
⑥優良な就職先の確保と就職支援活動の実践

３.法人部門

１）将来計画・経営安定化のための事業
①財務諸表（決算関係書類）作成の早期化
②兵庫医科大学急性医療総合センター建設に伴う募金活動
③診療科別・部門別原価計算システムの導入
④物流センター統合物流管理体制の構築
⑤西宮キャンパスグランドデザイン（整備計画将来構想）の策定（継続）

２）情報整備のための事業
①統合事務システムの構築

３）人材育成のための事業
①医療人育成センターの機能充実、施設整備

Ⅱ．施設整備計画

１.西宮キャンパス

①１号館及びトレンチ（１～３号館）の各種配管改修・更新工事（継続）
②西宮キャンパス急性医療総合センター整備計画
③８号館受変電設備改修工事
④１号館附属棟４階　電話交換機及び周辺機器の更新

２.篠山キャンパス

①兵庫医科大学ささやま医療センター整備工事計画

学校法人兵庫医科大学

平成２２年度予算について

～財政基盤改善２年目に向けて～

財務部

平成２２年度予算が平成２２年３月２３日に開催された理事会で決定されました。その概要は以下のとおりです。昨年度に引続き収入の確保に努める一方、さらなる改革に取り組み、合理化を徹底することにより、積極的な事業展開が可能となるよう教職員の皆様の一層のご努力をお願いします。

１．平成22年度予算編成方針

本学の財政状況は、近年の大型施設・設備投資実施等により支払資金残高が減少しています。また、人件費・施設管理費等の固定経費が経常経費に占める割合は高止まりしており、財政運営の健全性や弾力性の保持を図ることが当面の課題となっています。

このような状況の中、平成２１年度より「収入に見合う支出」(財政基盤の改善)を基本的な考え方とする施策をスタートさせ、予算圧縮(資金支出を当初予算比約１５億円削減)をした結果、病院運営の改善も相俟って、ほぼ計画どおり収支差額を確保する見込みとなりました。今後、西宮キャンパスの再開発、篠山キャンパスの基盤整備等で多額の資金需要に対応するため、平成２２年度は財政基盤改善３ケ年計画の２年目として位置づけ、事業計画との整合性を保ちつつ、各種施策の優先順位についての査定・選択を行い、限られた資源のなかで健全な資金収支差額及び帰属収支差額を確保することを予算編成方針としました。ただし、より重要な課題である医科・医療両大学の学生教育充実、兵庫医療大学の志願者確保策、ささやま医療センターの充実等のための予算は計画どおり配分することとしました。

２．平成22年度消費収支予算の概要

収入予算合計は４２，２３４百万円で前年度比＋１９３百万円、支出予算合計は４１，１４６百万円で前年度比＋１，２０８百万円となり、その結果、平成22年度帰属収支差額予算は１，０８７百万円となります。２１年度と比較すると▲１，０１５百万円となりますが、ささやま医療センター増築工事にかかる一時的な補助金収入を除けば、昨年度より実質増額となります。

収入の主な増減要因

・学生納付金：医科大学の学生数増加、医療大学の開学４年目効果により６，９６６百万円、前年度比＋８４６百万円。
・事業収入：診療報酬改定効果もあり３１，０５４百万円、前年度比＋１，４６９百万円。
・補助金収入：ささやま医療センターに係る補助金が減少するため補助金合計は２，５６０百万円、前年度比▲１，９６７百万円。

支出の主な増減要因

・人件費：人員増加に伴い１８，４５５百万円、前年度比＋４４３百万円。
・諸経費：教育研究費、医療経費、管理経費の経費合計(含減価償却額)は２２，２８０百万円、前年度比 ＋６４８百万円。電子カルテシステム着手費用、医療大学の学生増加に対応するための経費、医療大大学院開設準備等に係る諸経費について予算措置を講じています。

３．平成２２年度施設設備関係支出予算

施設関係支出
　西宮キャンパス整備工事　６５２百万円
　ささやま医療センター工事　６０２百万円
　篠山キャンパス整備工事　７３百万円
　急性医療総合センター関連　１６４百万円
　医療大整備工事　８３百万円
設備関係支出
　ささやま医療センター機器　８２７百万円
　上記外備品・車輌・図書　８８３百万円
（平成２２年度のささやま医療センターに係る施設・設備関係補助金合計　４５３百万円）

消費収支予算

（単位：百万円）

収入の部	科目	平成22年度	平成21年度	差額
消費収入	学生納付金	6,966	6,119	846
	手数料	237	222	15
	寄付金	950	863	87
	補助金	2,560	4,527	▲1,967
	資産運用収入	40	50	▲9
	事業収入	31,054	29,584	1,469
	雑収入	424	672	▲248
	帰属収入　合計	42,234	42,040	193
	基本金組入額	▲2,805	▲3,895	1,089
	消費収入の部　合計	39,428	38,145	1,283

支出の部	科目	平成22年度	平成21年度	差額
消費支出	人件費	18,455	18,011	443
	諸経費	22,280	21,631	648
	借入金等利息	94	72	21
	資産処分差額	100	100	0
	徴収不能額	2	22	▲19
	徴収不能引当金繰入額	14	0	14
	予備費	200	100	100
	消費支出の部　合計	41,146	39,937	1,208
帰属収支差額		1,087	2,102	▲1,015
当年度消費支出超過額		1,717	1,792	▲74

資金収支関連予算

（単位：百万円）

収入の部	科目	平成22年度	平成21年度	差額
資金収入	学生納付金収入	6,966	6,119	846
	手数料収入	237	222	15
	寄付金収入	902	825	77
	補助金収入	2,560	4,527	▲1,967
	資産運用収入	40	50	▲9
	事業収入	31,054	29,584	1,469
	雑収入	424	672	▲248
	資産売却収入	0	3,300	▲3,300
	借入金等収入	0	4,000	▲4,000
	収入の部　合計	42,186	49,302	▲7,116

支出の部	科目	平成22年度	平成21年度	差額
資金支出	人件費支出	18,511	18,033	477
	諸経費支出	19,241	18,481	760
	借入金等利息支出	94	72	21
	借入金等返済支出	550	2,406	▲1,856
	施設関係支出	1,574	3,149	▲1,574
	設備関係支出	1,710	709	1,001
	その他の支出	251	163	88
	予備費	200	100	100
	支出の部　合計	42,135	43,117	▲981
資金収支の差額		50	6,185	▲6,134

（百万円未満については切り捨てて表示）

学校法人兵庫医科大学

役員等

平成２２年４月１日付で理事（新任４名、再任５名）、評議員（新任５名、再任１６名）の異動がありました。
また、平成２２年４月１日付で波田前学長が学校法人兵庫医科大学　副理事長に就任されました。

理事		
再任	理事長	新家 荘平
新任	副理事長	波田 壽一
新任	兵庫医科大学 学長 兵庫医科大学 主任教授	中西 憲司
再任	兵庫医療大学 学長	松田 暉
	兵庫医科大学 主任教授 兵庫医科大学病院 病院長	太城 力良
	兵庫医科大学 主任教授 篠山病院長 老人保健施設長 リハビリテーションセンター長	福田 能啓
再任	兵庫医療大学 副学長 兵庫医療大学 教授	佐藤 禮子
新任	兵庫医療大学 副学長 兵庫医療大学 教授	馬場 明道
	事務局長	森田 泰夫
	兵庫医科大学 主任教授 兵庫医科大学病院 副院長	難波 光義
	兵庫医科大学 主任教授・教務部長	野口 光一
	兵庫医科大学 主任教授	三村 治
再任	細見医院 院長	細見 基信
	公認会計士	森谷 伊三男
	常勤理事	飯田 俊一
新任	兵庫県医師会長	川島 龍一
再任	弁護士	畑 守人
	兵庫県健康福祉部医監兼健康局長	太田 稔明

監事	
公認会計士	岡本　茂登
弁護士	今中　利昭

平成２２年３月３１日付で任期満了のため退任されました。

理事・評議員

井植 敏（三洋電機株式会社 前最高顧問）
西村 亮一（兵庫県医師会 前会長）

評議員

守田 嘉男（兵庫医科大学 前主任教授・図書館長）
谷 洋一（前衆議院議員）

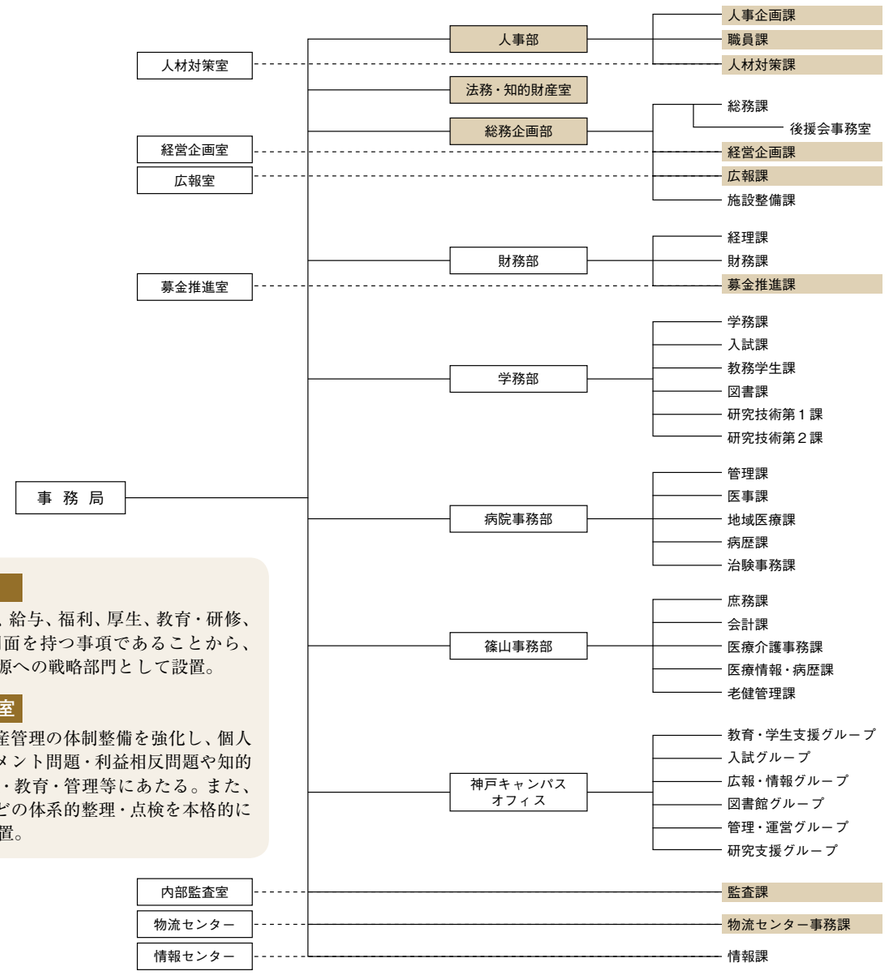
評議員		
再任	理事長	新家 荘平
新任	副理事長	波田 壽一
新任	兵庫医科大学 学長 兵庫医科大学 主任教授	中西 憲司
再任	兵庫医療大学 学長	松田 暉
再任	兵庫医科大学 主任教授 兵庫医科大学病院 病院長	太城 力良
	兵庫医科大学 主任教授 篠山病院長 老人保健施設長 リハビリテーションセンター長	福田 能啓
	兵庫医療大学 副学長 兵庫医療大学 教授	佐藤 禮子
新任	兵庫医療大学 副学長 兵庫医療大学 教授	馬場 明道
再任	事務局長	森田 泰夫
	兵庫医科大学 主任教授 兵庫医科大学病院 副院長	難波 光義
再任	兵庫医科大学 主任教授・教務部長	野口 光一
再任	兵庫医科大学 主任教授・医学教育センター長	鈴木 敬一郎
再任	兵庫医療大学 教授・薬学部長	東 純一
再任	兵庫医療大学 教授・リハビリテーション学部長	土肥 信之
再任	兵庫医療大学 教授・看護学部長	土居 洋子
	兵庫医科大学 主任教授・学生部長	越久 仁敬
新任	兵庫医科大学 主任教授・図書館長	谷澤 隆邦
	兵庫医科大学 主任教授・入試センター長	関 真
	兵庫医科大学 主任教授	三村 治
	兵庫医科大学 先端医学研究所細胞・遺伝子治療部門 研究所教授	後藤 章暢
再任	人材対策室長	山田 繁代
	兵庫医科大学 教授	服部 益治
	上ヶ原病院 院長	大江 与喜子
	細見医院 院長	細見 基信
	医療法人明和病院 理事長・病院長	山中 若樹
	医療法人協和会 理事長	木曽 賢造
	神戸夙川学院大学・夙川学院短期大学 名誉学長	吉岡 濟
	西宮市副市長	安富 保
	公認会計士	森谷 伊三男
再任	弁護士	畑 守人
	常勤理事	飯田 俊一
新任	兵庫県医師会 会長	川島 龍一
再任	西宮市医師会 会長	菊池 英彰
再任	兵庫県看護協会 会長	大森 綏子
再任	兵庫県薬剤師会 会長	東 和夫
再任	（社）兵庫県理学療法士会 会長	樗平 司
	姫路市健康福祉局 保健所長兼南保健センター所長	毛利 好孝
再任	神戸市健康福祉局健康部長	谷口 真澄

敬称略

学校法人兵庫医科大学

事務組織再編について

平成２２年４月１日付で、下記のとおり組織再編を行いました。法人を取り巻く外部環境の変化は激しく、これに対応するための課題解決と業務改革、そして事務職員の一層の能力開発が求められています。しかし、現状は調整業務にとどまりやすく、改革に向けた企画業務等への対応は遅れがちです。今後、法人機能に求められる経営課題に対する企画・調整・提案、学内規程の整備と法令順守に係る諸問題への対応、教職員が働きやすい環境の整備など、喫緊の課題への早期的かつ継続的な取り組みが必要であることから実施しました。



人事部

職員の採用、服務、給与、福利、厚生、教育・研修、評価等の多様な側面を持つ事項であることから、最も重要な人的資源への戦略部門として設置。

法務・知的財産室

法令順守・知的財産管理の体制整備を強化し、個人情報保護・ハラスメント問題・利益相反問題や知的財産に関する啓発・教育・管理等にあたる。また、各種規則、規程などの体系的整理・点検を本格的に行う部署として設置。

学校法人兵庫医科大学

平成２２年度入職式及びオリエンテーションを実施

４月１日、臨床研修医４８人、看護職員１０８人、事務員１９人、技術員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床検査技師・診療放射線技師・臨床心理技師・臨床工学技士・看護補助・実験補助等３０人の合計２０５名が入職しました。

入職式では辞令交付に次いで、役員紹介、理事長・学長・病院長の挨拶があり、続いてオリエンテーションが行われました。

学校法人兵庫医科大学

規程等の制定・改正　（規程等の全文はグループウエアに掲載）

No.	項　　目	制定・改正の趣旨	制定・改正日
1	学内講師委嘱の取扱内規	大講座制の導入等に伴う講座定員に占める学内講師定員の講座間での不公平を是正するため改正。	平成２２年３月２日
2	兵庫医科大学教育教授設置規程	基礎医学系の教育教授の選考について、臨床教育教授設置規程に整合するよう改正。	平成２２年３月１６日
3	兵庫医科大学ティーチング・アシスタントに関する規程	兵庫医科大学大学院に在学する優秀な学生に対し、教育的補助業務を行わせ、大学教育の充実及び指導者としての育成の機会を提供するため制定。	平成２２年４月１日
4	兵庫医科大学倫理委員会規程	文部科学省の「臨床研究に関する倫理指針」の改正に伴う改正。	平成２２年４月１日
5	兵庫医科大学教務に関する規程	第４学年次にも総合進級試験を導入すること、追試験の評価を定期試験の９０％に変更すること等の改正。	平成２２年４月１日
6	兵庫医科大学講義室等の貸与に関する内規	兵庫医科大学の講義室及び平成記念会館を関連する諸団体（連携病院の会や兵医萌の会）に対する法人会員の特典として使用させるため、使用料金を含む内規を制定。	平成２２年4月1日
7	兵庫医科大学給与規程	長時間労働にかかる労働基準法改正に伴う改正。	平成２２年４月１日
8	集中治療部門運営委員会規程	集中治療部門全体にわたる運営上の問題点や運営方針について協議を行う組織として集中治療部門運営委員会を設置し、その下にICU運営小委員会、CCU運営小委員会及びNICU運営小委員会を設置するため、それぞれの規程を制定。	平成２２年２月２日
9	ICU運営小委員会規程	同上	平成２２年２月２日
10	CCU運営小委員会規程	同上	平成２２年２月２日
11	NICU運営小委員会規程	同上	平成２２年２月２日
12	兵庫医科大学篠山病院給与規程	長時間労働にかかる労働基準法改正に伴う改正。	平成２２年４月１日
13	兵庫医科大学ささやま老人保健施設給与規程	同上	平成２２年４月１日
14	兵庫医療大学教務に関する規程	通学時の交通混雑を緩和させる目的で兵庫医療大学の授業時間帯を変更するため改正。	平成２２年４月１日
15	兵庫医療大学給与規程	長時間労働にかかる労働基準法改正に伴う改正。	平成２２年４月１日
16	１１号館（仮称）建設事業募金委員会内規	募金の活動内容を明らかにするため、募金の募集方法及び管理運営に関する内規を制定。	平成２２年２月２日
17	学校法人兵庫医科大学事務組織規程	平成２２年４月１日付け事務組織の見直しにかかる改正。	平成２２年４月１日

兵庫医科大学　兵庫医科大学病院　兵庫医科大学篠山病院　兵庫医療大学　学校法人兵庫医科大学

多彩人

記念すべきトップバッター

“ワインを愛する”多彩人

上部消化管外科 主任教授
笹子 三津留さん

上部消化管外科 主任教授の笹子 三津留さんは自宅に３台ものワインセラーを所有するワイン好き。１９８４年にフランス政府給費留学生として１年間パリ大学医学部へ。留学中はあまり飲めなかったが、ワインが身近にある環境で自然とワインが好きになった。フランス人が肉や乳製品たっぷりのフランス料理を食べても太りにくく、心臓病などによる死亡が欧米諸国の中で最も少ない『フレンチパラドックス（フランスの逆説）』について「赤ワインのポリフェノール類が影響しているという説もありますが、単なる酒飲みの言い訳かもしれない」と笑う。

「ワインはある程度の期間を寝かせて熟成させて飲むもの。熟成期間はそれぞれ異なり、作られた時期の天候、場所、糖度や種類、保存方法などが影響します。長い時を重ねて熟してゆく、それはこどもを育て、見守るような感じですね。」と魅力を語る。そしてニッコリと笑いながら「飲むまで死ねるか、と長寿の糧にもなります。」

１９９５年にフランス外科学会名誉会員に任命された
「フランスではエスプリを学びました。人生は一度きり、自分らしさを追求する、という人生哲学です」

今号から始まる新コーナー“多彩人”では、仕事以外の分野（例えば芸術、スポーツ、ボランティアなど、ジャンルは問いません）で才能を開花させている人、極めている人を紹介していきます。○○展に入賞、知事賞を受賞などのスキルの高いものや、こだわりがある、語らせたら評論家なみ、など幅広く取り上げたいと考えています。
身近な“多彩人”の情報をお待ちしています。自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。
＜電話：０７９８－４５－６６５５　メール：kouhou@hyo-med.ac.jp＞

病歴室は外来診療録・入院診療録・Ｘ線フィルム等の管理や、診療録のデータベース化と各種統計資料の作成・報告、クリニカルパス管理業務や院内がん登録などを行っています。現在、２１名（職員９名、嘱託職員５名、アルバイト職員７名）が所属し、うち５名が診療情報管理士の有資格者です。昔は「モノ」を管理する倉庫番のイメージが強かったのですが、今は「情報」を管理することが多くなり、診療録から情報を読み取るための医学的な知識、国際疾病分類・手術分類やＤＰＣ制度の理解力、データ分析力などの専門性が必要とされます。スタッフは向上心が旺盛で、休日を利用して勉強会や学会に参加するなど、スキルアップに励んでいます。

REPORT　職場リポート

有用な情報を提供して、診療や研究、教育を支援していきたい

兵庫医科大学病院　病歴室　主任　絹川（きぬがわ） 武俊（たけとし）さん（診療情報管理士・医療情報技師）

情報の精度を高く保つこと

主に診療録の院内監査、データベース化、情報の分析などを担当しています。院内監査は診療録を正しく記載してもらうための支援をしています。医事紛争時などでは正しく記載された診療録が真実を明らかにする重要な証拠となるため、裁判官になったつもりで「疑わしい」と誤解されそうな記載方法を指摘し、指導するように心がけています。また、病歴室が持つ情報を患者さんの病院選びの参考にして頂くために、診療実績等のクリニカルインディケーター（臨床評価指標）を作成し、公開に向けて準備をしています。特に気をつけているのは収集したデータの精度を高く保つことです。データは宝の山ですが、精度が低いとただのゴミの山になってしまいます。情報を読み取るための医学的な知識、国際疾病分類や手術分類など、常に理解を深めていくことが重要だと考えています。

苦労した経験が今に繋がっている

もともと医療関係に関心を持っていましたが、大学卒業後は一般企業で働いていました。家族が入院していた病院のスタッフが活き活きと働く様子を目の当たりにし、「医療機関で働きたい」という思いが再燃し、診療情報管理士の資格取得と転職に挑戦しました。病院勤務の方が専門性を高める為に取得する場合が多く、異業種から挑戦した私はとても苦労しましたが、この経験が今に繋がっていると思います。これからもあらゆることに挑戦し、経験を重ねて、「何でもこなせる頼れるおじさん」になる事が目標です。

有用な情報を病院や患者さんへフィードバックする

全国的に診療録の電子カルテ化が進み、診療情報管理の分野は「物の管理」の時代から「情報の管理」の時代への過渡期を迎えています。病歴室は「診療録はすぐに返却して」「正しく記載して」と注文することが多く、時には現場のスタッフに煙たがられる存在ですが、今後は有用な情報を提供して診療や研究、教育を支援するサービス業としての機能を充実させたいと考えています。また、学外の勉強会や学会等に参加した時は、積極的に発表し、他大学・病院との情報交換を行うように心がけています。学生の頃よりも勉強熱心になった気がしますね。

ＣＣＵ病棟は冠動脈疾患の集中治療室で、主に不安定狭心症、急性心筋梗塞の急性冠症候群などの患者さんを２４時間体制で集中管理しています。平成１３年には救命救急センターの認定を受け、本学救命救急センターと連携し、重症心疾患の患者さんの迅速な受け入れ体制を確立しています。

緊急入院で搬送される患者さんが多く、緊迫した状況の多い職場ですが、現在２４名の個性的で明るいスタッフが医師やコメディカルと連携を取りながら、元気いっぱい働いています。

REPORT 職場リポート

チーム医療で患者さん一人ひとりにあったケアを

兵庫医科大学病院　看護部　ＣＣＵ病棟　多田（ただ） 麻美（あさみ）さん　松﨑（まつざき） 芳美（よしみ）さん（左から）

「何か一つでも患者さんの状態を良くする」を日々の目標に　ー　松﨑　芳美さん

「患者さんのために出来ることは何か」を最優先に考えて行動しています。医師やコメディカルと連携し、患者さん一人ひとりにあった看護ケアを考えていけるチーム医療にやりがいを感じますね。勤務に入る時はいつも「今日も何か一つでも患者さんの状態を良くする！」と気持ちを新たにしています。入職６年目の今はプリセプター、メンターとして新人教育にも携わっており、今まで先輩方に支えていただいたように、後輩たちをサポートしていきたいです。

ＣＣＵ病棟の患者さんは状態が刻々と変化します。不整脈の鑑別の仕方や急変時の対応など、必要とされる専門知識も多く、勉強会を積極的に行っています。患者さんの心と身体の変化をいち早くキャッチできるよう、知識や技術だけでなく、感性も磨いていきたいと思っています。

患者さんと向き合うことができます　ー　多田　麻美さん

配属されて間もない頃は、患者さんとどう接したらいいかわからず、先輩方に励まされてばかりでした。３年目の今は戸惑うことも少なくなってきましたが、緊急入院で患者さんが搬送される時や、状態が急変した時は、気持ちが焦ってしまいます。そういう時は、特に一つひとつのケアを確実に行い、何度も確認し、インシデントにつながることが無いように気をつけています。「私たちはリスクの高い患者さんと接している」ということを肝に銘じ、勉強会などを利用してあらゆる状況に対処するための準備をしています。

一人の患者さんとゆっくりと向き合うことができるのもＣＣＵ病棟の特徴です。患者さんやご家族に寄り添えるように多様な考え方も身につけたい。休みの日には色々な人と交流して視野を拡げていきたいと思っています。

卒業生紹介　Graduate introduction

略歴
1979年　兵庫医科大学卒業
1979年　兵庫医科大学　第２内科入局
1984年　兵庫医科大学　輸血部助手
1989年　五月会青山病院　内科部長
1994年　尼崎中央病院　副院長
2005年　尼崎中央病院　院長

第２期生　伊福 秀貴さん
中央会尼崎中央病院　院長

近況

JR尼崎前に位置する中央会尼崎中央病院は、阪神間の民間病院としては比較的大きく、常勤医が３０名を超す大所帯の病院です。その主力となるのが血液内科で、準無菌室を１２床待ち、絶えず３０人ほどの血液疾患（リンパ腫、白血病等）の患者さんが入院されています。消化器内科も4名の常勤医が外科と連携をとりながら、内視鏡治療や外科への紹介と忙しい日々を送っています。また整形外科は脊柱や関節鏡、慢性疼痛で国内でも有名な先生方がおられ、全国的なレベルと言えます。最近では循環器内科も充実し、心臓CTや心臓カテーテルで有名な医師が入局され、多芸多才な面々の力をいかに発揮させるかが私の使命となってきました。

学生時代の思い出

同期の稲守先生（耳鼻咽喉科）と共にアーチェリー部を作ったこと、入学後１ヶ月間だけ野球部に入部していたぐらいで、何もしない、のんびりとした学生でした。５年生になってからは猛勉強し「やればできるのね」と友人に褒められたほどです。

卒業後に学んだこと

日本で初めて成功した再生不良性貧血の骨髄移植の症例を、主治医として担当させていただきました。移植に関して猛勉強をし、「移植のスペシャリスト」と自画自賛していましたが、他大学との交流を通して自身の知識の浅さを知り、恥ずかしい思いをしました。専門としてきた血液分野について「まだ十分でないのでは？」と考え、医師になって１０年目にして、循環器、消化器、救急の知識と技術を習得するため、大学を飛び出し、救急医療とgeneral physicianの道に没頭しました。その間の苦労は大変なもので、毎日のように当直と夜間救急が続きました。苦労という苦労を経験し、卒後１６年目に現在の病院に入職した時には、全く怖いものが無くなっていました。

学生に向けてのメッセージ

医療人は、辛いこと、危険なこと、大変なことを避けて通ることはできません。若いうちにできるだけそれらを経験し、乗り越えることが、立派な医師になる早道だと思います。特に辛い、厳しいと言われる科に率先して入局し、自分自身を鍛えていってください。それができるのも若さの特権だと思います。

略歴
1978年　兵庫医科大学卒業
1978年　兵庫県立尼崎病院 臨床研修医
1980年　公立浜坂病院 外科医長
1994年　兵庫医科大学大学院医学研究科修了。博士（医学）受領。
1995年　兵庫医科大学 遺伝学講座 講師
1999年　兵庫医科大学 先端医学研究所家族性腫瘍部門 助教授
2007年　近畿大学 理工学部 生命科学科 教授

第１期生　田村 和朗さん
近畿大学理工学部　生命科学科　教授

近況

２００７年４月より、近畿大学理工学部生命科学科に移り、分子生物学研究室を担当しています。医学部とはまったく異なる風土で驚きの連続でしたが、５０歳代にして新たなことをたくさん学んだ３年間でした。近畿大学大学院には遺伝カウンセラー養成課程があり、パーソナルゲノムを基にした個別化医療が進んだ際には医師の皆様の戦力となる人材を育てています。

学生時代の思い出

１９７２年に一期生として入学し、スキー部に所属しておりました。西医体等で好成績を得たいと戦略を練りました。その戦略とは雪上滑走日数（練習量）の増加⇒再試を減らす⇒春期～秋期に陸トレと勉強する、でした。今思えば動機が不純ですね。その成果は５年生の時にあらわれ、第２９回冬季西医体の主幹をしながら、総合３位を得ることに自らも貢献できたと思います。顧問であった川崎 毓男（いくお）先生（故人）や部員と夜を徹して喜んだことを思い出します。

卒業後に学んだこと

兵庫県養成医師の一人として卒後１２年間、外科医として県北部の病院や診療所で勤務しました。その間、大学とは別の角度から医療や福祉の経験を積みました。外科診療は個々の能力のみならずチームとしての総力が患者の命を左右するので、医長のときは全体を俯瞰して評価することに腐心しました。

学生に向けてのメッセージ

“succeed”は好きな動詞の一つです。一般に「成功する」と訳されることが多いと思いますが、「後を継ぐ」、「続く」という意味もあります。名詞ではそれぞれ“success”と“succession”に相当します。兵庫医科大学の３８年間の優れた業績を大切にして継承し、さらに伸ばすとともに新しい力とうまくマッチングさせていただきたいと思います。学生諸君には「信念をもって続けることのできる胆力」を養って欲しいと思います。最後に好きな言葉を贈ります。

「盡人事待天命・盡人事而待天命（人事を尽くして天命を待つ）」
『読史管見（とくしかんけん）』（宋代儒学者・胡寅（こいん））。